

道路情報データ作成要領

1 経年変化データ整理作業

道路管理システムに入力する道路情報データのうち、道路台帳データ（データ形式：DM）の情報では不足する内容を補足するため、以下の資料を作成・整理する。

(1) 修正対象箇所一覧ファイルの入力

本市道路認定課が所有する資料（道路台帳補正業務指示一覧表等）及び別途提供する電子データ（Microsoft Excel 2016 形式）を元に、業務対象区間の情報を抽出のうえ、別途担当職員が提供するファイル（Microsoft Excel 2016 形式）にデータ入力する。

●入力項目

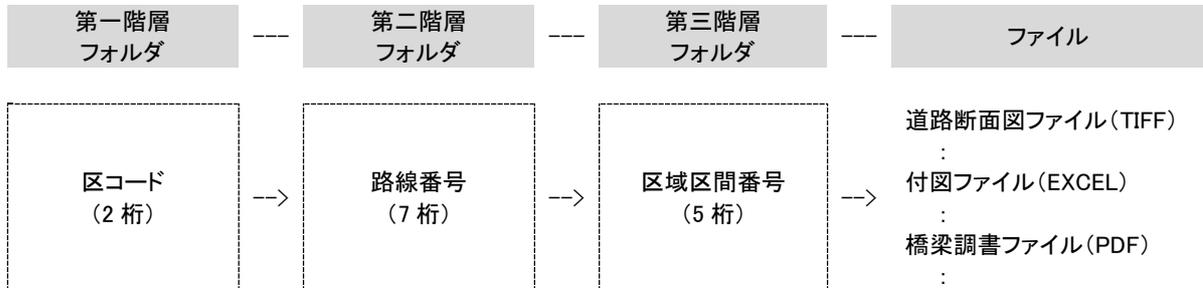
①	区コード (2桁)
②	路線番号 (7桁)
③	区域区間番号 (5桁)
④	種別コード ※分類は下表のとおり
⑤	告示コード (3桁)
⑥	延長 (単位m：小数2位)
⑦	橋梁フラグ (空白 or 1)
⑧	現況区間番号 (3桁)

●種別コードの分類

種別コード	種別	種別コード	種別	
111	新規単路型	開発行為	帳票作成のみ	
112		区画整理		
113		私道昇格		
114		他部局		
115		確定測量		
116		供用開始		
117		その他		
121	新規団地型	開発行為	修正	
122		区画整理	道路工事	
123		私道昇格		改良歩道
124		他部局	舗装側溝	
125		確定測量	999	橋梁
126		供用開始		
127		その他		
			防護柵他	

(2) 道路断面図及び付図並びに橋梁調書のファイリング

本市道路認定課が所有する道路現況区間毎の「道路断面図 (TIFF 形式)」ファイル及び「付図 (Excel 形式)」ファイル、橋梁番号毎の「橋梁調書 (PDF 形式)」ファイルのうち、(1)で作成した一覧表の区域区間に該当するファイルを抽出のうえ、下記階層のフォルダに分けて格納する。



2 道路管理データ作成作業

道路管理システムに入力する道路情報データのうち、道路台帳データに存在しない以下の構造物の情報について、下記参考資料 (別紙) の要領で作図する。

●参考資料 (別紙)

- 「札幌地区道路管理システムデータ取扱いマニュアル」
- 「札幌市入力原稿図作成要領 (地形編・道路編)」
- 「札幌市入力原稿図作成要領 (詳細事項)」
- 「情報管路下図作成・入力作業要領」

(1) 道路管理データ作成 (ロードヒーティング、地下歩道、流雪溝ライン)

道路台帳データを画像 (ラスター形式) の基図として CAD データに取り込み、対象の構造物を追記する。また、作図したデータを PDF 形式のデータに変換する。

(2) 大型案内標識図面作成 (大型案内標識)

道路台帳データを画像 (ラスター形式) の基図として CAD データに取り込み、案内標識の基礎部分を追記する。

作図したデータを 500 分の 1 の縮尺の平面図として PDF 形式のデータに変換し、位置図及び現地写真を添付する。

(3) 特殊構造図面作成 (電線共同溝)

対象箇所のメッシュ図を一般財団法人道路管理センター札幌支部から入手し、これを基図として構造物を追記する。